

# 議会だより

9月定例会



「おかわりしちゃおーかなあー」(不動保育所・いも煮会にて)

- 平成21年度決算の状況は …… ②
- 10議員による町政への提言 …… ⑥
- 委員会調査 町への提言 …… ⑭
- 交通弱者の声にこたえる交通整備を〈追跡レポート〉… ⑮

6.7%増の128億円

76億1,053万円

一般会計

第4回定例会は、9月2日から16日までの15日間の会期で開かれた。

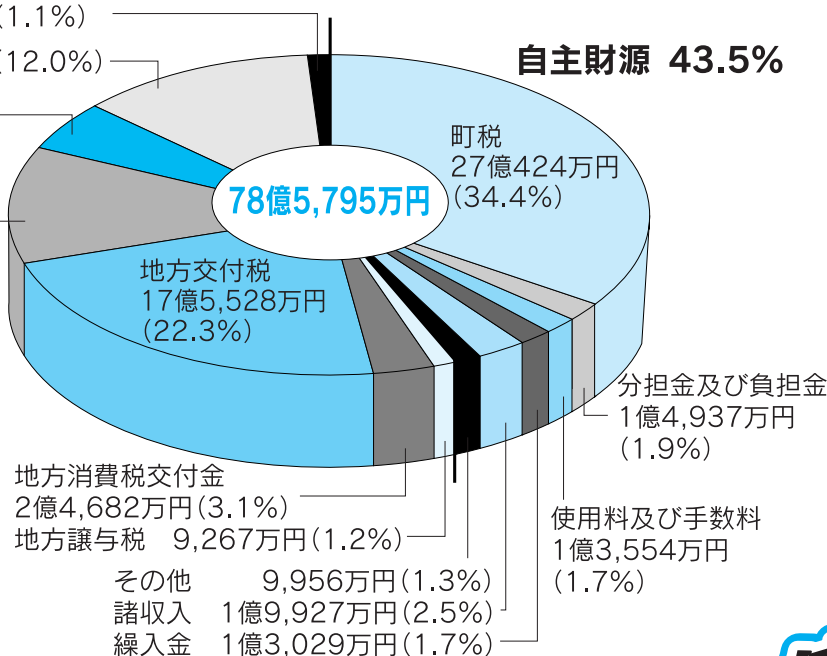
今定例会では平成21年度各種会計決算の認定の他13の提案を慎重に審査し、すべて認定、可決している。

一般質問では、10議員が発言し、町政への提案、疑問を問いただしている。

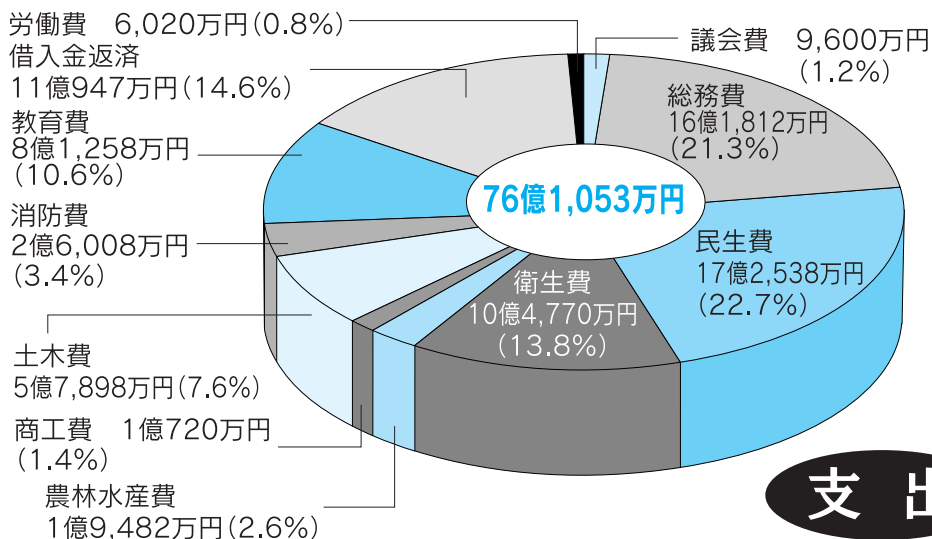
依存財源 56.5%

- その他 8,300万円(1.1%)
- 借入金 9億4,620万円(12.0%)
- 県支出金 3億9,003万円(5.0%)
- 国庫支出金 9億2,568万円(11.8%)

自主財源 43.5%



収入



支出

町民1人あたり32万円使われました

# 決算規模は前年度比 一般会計 前年度比 19.9%増の

## 8会計決算額

(単位:万円)

会計名	決算額	前年度比較
一般会計	76億1,053万円	19.9%
老人保健特別会計	424万円	△ 98.1%
後期高齢者医療特別会計	1億8,997万円	7.0%
国民健康保険特別会計	19億7,473万円	△ 2.0%
介護保険特別会計	10億6,675万円	0.4%
地方卸売市場事業特別会計	277万円	△ 6.7%
公共下水道事業特別会計	11億3,671万円	△ 23.7%
水道事業会計	9億63万円	13.5%
合計	128億8,633万円	



▲金ヶ瀬東集会所

## 平成21年度に実施した主な事業

- 金ヶ瀬東集会所新築工事 2,283万円
- 金ヶ瀬中東線川根団地東線外道路用地取得 4,343万円
- 公園水洗トイレ設置工事(中部1号・山崎公園) 1,702万円
- 上谷団地共同受信施設設置工事 2,074万円

### 『一般会計』

〔反対討論〕

万波孝子議員

払いたくても払えない人が急増、滞納額が7億円を超えた。国の悪政治が要因。地方自治体、町民いじめの政治で許せない。憲法第9条を変えて日本を再び戦争に導く経費が支出されている。道の駅は町にはいらないとする請願が採択されたのに、白紙撤回する考えがないこと。100歳の敬老祝い金を引き下げたことも認められない。

〔賛成討論〕

岡崎 隆議員

一般会計は地方交付税の増額給付金事業、地域活性化、経済危機対策の各交付金事業により実質単年度2億3千791万円の黒字であった。しかし景気低迷の出口は遠く、一部道の駅建設計画策定業務委託料の町民に配慮を欠く支出もあったが、今後改善が期待されることから賛成の立場で発言する。

(賛成12人 反対2人)

## 決算委員会審議

## 採決の結果原案のとおり認定

滞納が町財政を圧迫  
さらに効率的な収納対策を

**問** 町税の滞納分で仙南広域滞納整理事務に移管した件数は差押え32件、分納34件となった。町には926万円納入されたが、仙南広域に移管される基準と執行までの流れは。

**答** 納期後に督促、その後年2回の催告、電話での対応で6ヶ月以内に納めなければ滞納処分の対象となる。

**問** 滞納処分として預金差押え経過の中で、銀行から該当者の預金残高の写しをもらうという行為は個人情報保護の観点から逸脱していないのか。

**答** 本人に通知をし、了解を得て国税徴収法に準じて行っている。問題はない。



▲桜保育所全景

**問** 町有林伐採委託で小山田地区にある21haの町有地の伐採は行わなかったのか。また購入後、長期にわたり活用がされていない。今後の計画は。

**答** 質問の場所は行っていない。活用についても具体的な検討は行っておらず、今後の検討課題としたい。

**問** 桜保育所は老朽化が進んでいる。建て替えの検討はしたのか。

**答** 第5次長期総合計画の中では平成28年ごろに建て替える計画予定である。

**問** 更生医療給付費負担金が平成20年度より2倍となった。人工透析患者の増とのことだが要因はなにか。

**答** 生活保護受給者の転入による増であり、結果国庫負担金が増となった。

**問** 原前霊園8区画、頼母山霊園1区画の使用料減免の理由は、共同利用墓地の必要性は検討したのか。

**答** 生活保護受給者によるもの。無縁仏が6件あり、将来的に共同利用墓地の必要性も感じている。

**問** 町営上谷住宅の空家42戸は解体もできず政策空家として放棄されている。国・県と交渉し解体しては。

**答** 町としてはできれば解体し、安全などの対策を取りたい。今後、機会を見つけて協議した。



▲町営上谷住宅

**問** 国税の収納率が低下すると国庫支出金の減額が生じるが21年度はどうか。また、国税の減免制度を活用した人は何人か。

**答** 減額率9%で国庫支出金は1千127万円の減。減免件数は7件であった。

**問** 21年度の水道料金未納による給水停止となった件数と状況は。

**答** 給水停止は120件で99件は解除されている。

# 総括質疑

前年度の予算はどう執行されたのか。有効に町民のために運用されたのか、今回は6人の議員が質問しました。

庄司 充議員

**問** 国民健康保険税の不納欠損額は年々増加している。今後、国民健康保険特別会計の不足を一般会計から繰り入れされた場合、町民は国保税と町税の二重負担にならないか。国民健康保険税の未納は法的に時期が来れば徴収不能として処理されることは正しいことなのか。

**答** 国保特別会計への一般会計からの法定外繰入金は、基本的にはあるべき姿ではないが、やむを得ないケースも想定され、予算措置もあり得る。そうならないように対処したい。不納欠損には、時効の適用があれば、その税債権は消滅し、会計上の処理として不納欠損処分とされている。

**問** 国民健康保険制度は、国民皆保険制度を支える大きな柱であり相互扶助を大原則としている。これまで国保税の税率を2ヶ年にわたり改正（引上げ）を

行ってきた。収納率で平成19年度71・3%が、今年度64・1%まで落ち込んだ。相互扶助ではなく、税率を上げて取れるところから取ると思われても仕方のないような現状を町長はどう思っているのか。

**答** 臨戸訪問などの方法により粘り強く徴収している。また悪質滞納者に対しては必要に応じて滞納処分を強化し、懸念されている「取れるところから取る」ことのないよう、公平な運営に努めていく。

**問** (1) 払いたくても払えない町民が急増し、滞納額は7億円を超えた。国の政治が町政と町民生活を苦しめているという認識はあるのか。  
(2) 払えず困っている町民へ減免制度の活用や生活保護、就学援助の申請を積極的に進め、救済してきたか。  
(3) 国の方針通り、公立不動態所民営化が具体的に示されたが、福祉後退、町

の責任放棄と言えないか。民営化による経費削減額は、

(4) 町の財政は健全か。

**答** (1) 国の政策が滞納に結びつくとは思っていないが、長引く不況等への国の改善策に期待する。  
(2) 減免制度については広報などで周知。窓口での各種相談時に減免該当者には説明し促進を図っている。  
(3) 国は民間保育所の運営費を1/2負担しているので責任放棄とは言えない。削減額は5千6百万円。  
(4) 健全方向である。

**問** 重い保険料、利用料、特養ホーム待機者の増加など「保険あつて介護なし」の実情に保険者である自治体の対応が問われた。  
(1) 業務を適正に行つたとはどんなことか。  
(2) 保険料の普通徴収者の滞納実態調査は行つたのか。  
(3) 必要な居宅介護利用を控える人はいなかったのか。  
(4) 次期計画の前に実施が求められる課題と検討された

具体策について。

**答** (1) 介護保険法の趣旨に  
従い業務を行つたという  
ことである。

(2) 滞納者のほとんどは介護保険制度に無理解の人。低所得者の割合は低い。  
(3) 必要な介護を控えるのではなく、訪問通所サービスを増えている。  
(4) 計画を進めるものは老人福祉施設の整備で現在事業者と協議を進めている。

**問** 公立保育所と私立保育所の入所状況を見ると私立保育所の月平均利用者は定員を上回っているが、公立保育所、特に桜保育所の月平均利用者は定員を下回っている。なぜこのような状況が起きたのか。

**答** 桜保育所は入所見定員120名で認可されたが、昭和60年頃から3歳未満児の入所希望が増え、近年0歳児保育などのニーズの多様化に因應するため、現状では3歳児のクラスを未満児室に変更して受け入れ

している。また健常児の2・3倍の保育力が必要といわれる障がい児保育を担っており、それに見合った保育士数を確保し、「包括的保育」を行っている。

**問** 平成21年度決算で道の駅基本計画策定業務委託料として、1千44万8千円が支出されている。昨年、建設に反対する住民運動が盛り上がり、5千名を超える署名簿が9月に提出され、12月議会で採択された。しかし執行部は真摯に受け止めることなく、中止などの検討をされなかったのはなぜなのか。

**答** 人口減少社会を向かえ、今後の産業振興においてどう交流人口を増やし、地域資源を活かすが問われている。第5次長期総合計画の中でも常設売場設置の提言がコラボ会議で出された。反対の意見も深く受け止め、ものづくり、雇用の場の創出と併せて町民のご理解を得られるよう議論を深めていきたい。

**問** 国民健康保険制度は、国民皆保険制度を支える大きな柱であり相互扶助を大原則としている。これまで国保税の税率を2ヶ年にわたり改正（引上げ）を

行ってきた。収納率で平成19年度71・3%が、今年度64・1%まで落ち込んだ。相互扶助ではなく、税率を上げて取れるところから取ると思われても仕方のないような現状を町長はどう思っているのか。

榎 和也議員

万波孝子議員

松井美子議員

半澤敏美議員

岡崎 隆議員



堀江一男 議員

# 一般質問

一般質問とは、町長・教育長等に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをたずもの。今回10人の議員が行った。

# 町政への提言 Q & A

堀江一男 議員 ……………P⑥

- コンビニでも収納を
- 障害者等の「がい」の字をひらがな表記に(掲載外)
- 一人暮らし高齢者等への対応は(掲載外)

万波孝子 議員 ……………P⑦

- 子宮頸がんはワクチンで予防できます無料で接種できるようにして
- 熱中症予防対策はどうだったのか(掲載外)
- 地デジ移行でアナログ停波計画の延期を国に求めて(掲載外)

庄司 充 議員 ……………P⑧

- 新たな遊歩道づくりを考える

半澤敏美 議員 ……………P⑧

- 町の「ひきこもり」の現状と対策は

佐藤貴久 議員 ……………P⑨

- まちづくりの一端を提案する

岡崎 隆 議員 ……………P⑩

- 「公の施設」の指定管理者による、管理運営と今後は
- 重度心身障がい者タクシー利用助成事業の取り組みと課題は(掲載外)

丸山勝利 議員 ……………P⑩

- 当町の河川環境は大丈夫か

柘 和也 議員 ……………P⑪

- 災害に備え、当町の防災対策は万全か

佐藤 巖 議員 ……………P⑫

- 大河原にもう一つの特別養護老人ホームを
- 町長の産業興しの考えは(掲載外)
- 役場庁舎ホールの借用基準は(掲載外)

松井美子 議員 ……………P⑫

- どうなる 町の子育て施策のゆくえは
- 分別と再利用・資源化でごみ減量を(掲載外)

## コンビニでも収納を

### 問

税等の収納率向上と納税者の利便性について(1)収納対策本部会議は何回開催され、どのような協議、対策を行ったのか。

### 答

(1)本部会議の開催が1回、専門チーム会議が2回で、収納業務や私債権を含めた滞納整理の方策と、管理職による臨戸徴収を

率向上のための一方策になり得るか、今後、先進事例の調査などを行い、導入による利便性の向上などの効果や、導入費用などの課題

る。また、人的配置の問題や、電算システムの変更等、多くの経費が掛かるので、経費に見合う効果が得られるかという問題があり、今後とも収納対策本部会議で効率の良い、徴収方法について検討したい。



## 子宮頸がんは ワクチンで予防できます 無料で接種できるようにして

万波孝子 議員

**問** 厚生労働省は来年度予算で子宮頸がんを予防するワクチン接種の助成事業費150億円を盛り込むことを決めた。この背景には婦人団体の要求運動や日本産婦人科学会、日本小児科学会も11歳から14歳の女子に公費負担で接種するよう求めている要請に応えたもの。子宮頸がんは20代の女性では発症率が一番高いがんで、年間1万5千人以上が発症し、約3千500人が命を落としている。命を落とさなくても子宮摘出等で子どもができなくなる人が6千人近くいる。ワクチンの対象者は性行動を始

める前の10歳代。費用は5万円前後、全額が自己負担で公的援助が強く求められていた。今回の政府の動きを受けて、  
(1)既に全国的に子宮頸がんワクチン公費助成自治体が広がっているが、当町も柴田郡医師会と連携し具体的に進める考えはないか。  
(2)対象年齢を小6から中3にした場合の財政負担額は。  
(3)県に子宮頸がん予防事業を求めていくべきでないか。  
(4)学校では子宮頸がんワクチンのように医療の進歩で明らかになった情報は教えているのか。女性講座等町民への情報提供の考えは。

女性の命と健康を守るのは行政の役目  
早期に実現して

ちょっとひとこと



▲予防できるものは予防したい

**答** (1)国の状況を考慮し、今後費用助成について医師会と話し合い、検討して進める。  
(2)1人当たり約5万円。実施初年度は約2千400万円、2年目以降は毎年度約600万円となる。  
(3)町村会等を通じて、国や県に引き続き働きかける。  
(4)中学校の保健体育の中で最新情報を扱うのは可能。町民へは広報等に掲載する。



▲時間を気にせず支払いができればいいな

(2)口座振替、直接窓口での納税者は何%で、夜間納入利用者はどれ位いるのか。  
(3)納税の利便性を考えて、コンビニでも支払えるようにする考えはないか。  
(4)「徴収課」を設置し、収納の一本化を図る考えはないのか。

施している。  
(2)口座振替の利用は17・1%、直接窓口納入は78・6%。夜間利用者数74名となっている。  
(3)全国の市町村においてコンビニ収納の導入が徐々に進んできている現状から、町でもコンビニ収納が収納

整理を行い、費用対効果を考慮しながら検討していく。  
(4)「徴収課」を設置し徴収面での一本化を図っても、賦課と徴収等が別々に行われれば、賦課や料金の仕組みを納税者に説明ができない場合も生じ、収納の向上にはつながりにくいと考え

コンビニ収納を考えて

ちょっとひとこと



半澤敏美 議員



庄司 充議員

## 新たな遊歩道づくりを 考える

### 町の「ひきこもり」の現状と対策は

**問**

一目千本桜の白石川右岸桜土手から隣町船岡までの桜並木は、ウォーキングやジョギングを楽しむ町民の格好の場所になっている。左岸の新田町から荒川合流点までの桜道も多くの町民から利用されている。大高山遊歩道も最高のトレッキングコースである。これらのロードは健康増進のためにも、スポーツ向上の面でも大きな役割を果たしている。

**答**

(1)上谷地区の白石川右岸堤防を舗装し、金ヶ瀬さくら大橋までをウォーキングコースとする考えは、町民の皆様の健康増進に対する高い関心が伺えることから、積極的に取り組む考えである。今後、河川管理者である、大河原土木事務

**問**

家や自室に閉じこもって外に出ない若者の「ひきこもり」が全国で70万人に上ると推計されることが国で発表した実態調査の結果

が見当たらないだけに、社会や家族にとって大変深刻かつ大きな問題である。(1)当町ではこの実態をどうとらえているか。

**答**

(1)当町の「ひきこもり」の実態は、内閣府より公表された「若者の意識に関する調査」では、15歳～39歳人口の1・79%が「ひき

小さな質問から  
スケールの大きな構想が  
生まれる

ちょっと  
ひとこと

所長に金ヶ瀬さくら大橋の完成に合わせ、幅2・5m程度の歩道整備を協議し、右岸から左岸を周回できるコース整備を検討している。(2)コースに桜の植栽は土木事務所と以前から協議を行

っているものであり、植栽においては、堤防に新たな「根の侵食防止ブロック」を施し、4m程度の堤設置が必要となることから難しいと考える。



▲整備が望まれる上谷地区右岸堤防

門の人材確保は難しい。問題を抱える家族への対応は、関係する専門機関や教育機関と連携を図り、協力をしていきたい。





佐藤貴久 議員

## まちづくりの一端を提案する

(1)生涯スポーツ振興としてパークゴルフに着目し、西部丘陵を蘇生すべきでは。  
 (2)アクアギャラリーを文化活動に解放できないか。  
 (3)旧ラベンダー農園に小規模屋外文化施設を設置する考えはないか。  
 (4)地区での健康体操の現状は。元気づらぶの利用状況はどうか。  
 (5)行政主導で脳活性化教室

**問** 第5次長期総合計画策定作業が着々と実施されている。「住んでよかったまち」を決定づけるまちづくりの理念を住民の目に見える形で示すべきである。

**答** (1)民間活力の導入を図れないか検討する。  
 (2)利用者があれば、修繕等を協議する。  
 (3)現在では設置する状況にないと判断している。  
 (4)15地区に増加している。男性参加の促進を行いたい。  
 (5)運動機能向上と脳活性化のフルマッチで健康づくり

を開設できないか。  
 (6)町民体育まつりを復活すべきではないか。  
 (7)行政区見直しに関する意識調査を実施すべきでは。  
 (8)43行政区制に移行した当時と現在の各行政区の人口比率等の変動はどうか。



▲悩む前に相談を

果から分かった。また将来ひきこもりになる可能性のある「ひきこもり親和群」も155万人と推計しており、今後さらに増える可能性があると分析している。「ひきこもり」に至った経緯は様々であるが、即効の解決策や決め手になる手だ

(2)相談の事例とそれに対する対応は。  
 (3)専門カウンセラーを配置し、支援体制の強化を。また問題を抱える家族へ積極的に向き、相談にのる対応が求められるがどうか。

こもり」であると言われてる。  
 (2)仙南保健所で精神科医師と相談員が対応する思春期ひきこもり専門相談を月2回予約制で行っており、町に相談があった際は専門相談を紹介している。  
 (3)町でカウンセラー等の専

推進が完結すると思われる。  
 (6)過去に行った町民体育まつりのようなイベントを実施する方向性である。  
 (7)住民意識調査については、しかるべき時期に検討させていたきたい。  
 (8)人口激変地域の住民意識

こんな街に住みたいな  
 ちよっとひとこと



▲行政区一丸となった町民体育まつり

深刻になるまえに相談してみよう  
 ちよっとひとこと

の格差解消を含めて、行政区の見直しは今後の課題ととらえている。



丸山勝利 議員



岡崎 隆議員

## 「公の施設」の 指定管理者による、 管理運営と今後は

**問**

地方自治法改正以降、多くの自治体では「公の施設」を指定管理者制度の導入を図り管理運営を行っている。当町も126の施設のうち、5つの施設において指定管理者の導入を図っている。しかし、元々は「公の施設」であるから議会、住民のチェックがはたらくのが当然であるのに、税金が投入された官の施設を運営するNPO法人、株式会社等に移りかかるとして監視のシステムは構築されていないという住民の不安の声が聞こえている。本来、公の施設は住民の福祉の増進を図ることが前提であり、

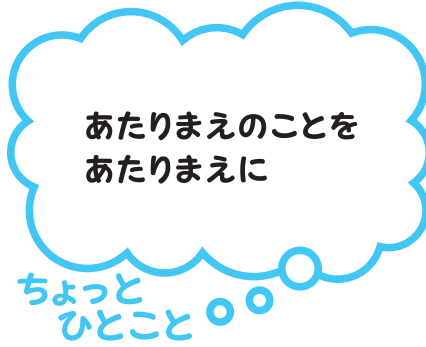
**答**

コスト優先で福祉、スポーツ振興、教育の充実が置き去りにされるようなことがあつてはならないと考えるがどうか。  
(1) 指定管理者制度導入後、各施設ではどのような効果が見られたのか。  
(2) 制度導入後、NPO法人大河原町スポーツ振興アカデミーでは町体育協会と連携し、スポーツの振興を図るとつたつてあるが、どのような連携がとられて活動されているのか。  
(3) 現在、当町では指定管理者制度導入を検討している施設があるのか。

**答**

(1) 設置目的、利用者の範囲は異なるが、運営コストの削減、民間のノウハウを生かしたサービスが提供されている。  
(2) 事務局をNPO法人の一環として行い、資料の作成、傘下の協会の大会等に人的

支援を行っている。  
(3) 導入計画は民間活力導入推進計画の中で、公民館、児童センター・児童館、駅前駐輪・駐車場、集会所等を検討している。



▲総合体育館

## 当町の河川環境は大丈夫か

**問**

近年、世界的に地球温暖化が進み、全国各地で異常気象が報告されており、わが国日本においても各地で温暖化と思われる気

臭など環境破壊が原因と思われる状況が見受けられる。このままでは川の環境の変化が分からず、河川への環境対策が取れないのではな

(2) 農業用排水路の水質検査で17年度から20年度、5項目中2、3項目が基準値を超えているが、改善されているのか。改善策をどのよ

を越えている項目については生活排水の流入を少なくする対策を行う。  
(3) ゴルフ場内での水質検査で、外部流出が確認された場合、検査を行う。



梶 和也 議員

## 災害に備え、 当町の防災対策は万全か

問 (1) 地区防災組織が結成されているのは43行政区中、何行政区か。  
(2) 未結成地区にどのような働きかけを行ったのか。  
(3) 地区組織の活動状況および町からの助言、指導は。  
(4) 住宅用火災報知器の町内での設置率はどうか。また65歳以上の高齢者世帯での

設置率はどうか。  
(5) 近隣市町と比べると、設置状況はどうか。  
(6) 設置率向上のため、高齢者、非課税世帯等に補助制度を設ける考えはないか。

答 (1) 現在32行政区で組織されている。  
(2) 区長会等の際、防災組織の必要性を話し、結成への働きかけを行っている。  
(3) 6・12総合防災訓練と一緒に独自に訓練を行っている地区、消防署の指導を受けて訓練等を行っている行政区もある。訓練等、地区独自で実施できるよう助言を今後行っていきたい。

設置率はどうか。  
(5) 近隣市町と比べると、設置状況はどうか。  
(6) 設置率向上のため、高齢者、非課税世帯等に補助制度を設ける考えはないか。



▲水質悪化には目を光らせて

候や現象が報告されている。わが町においても川を取り巻く環境が激変していると思われ、ここ2、30年で川に生息している生物種や生態数が減り、今まで当たり前のように見られていた川の生物が見られなくなった。また濁りや変色、時には異

いか。今後の大河原町の未来を担う子どもたちに、美しい川、美しい大河原町を残すためにもどう考えているのか。  
(1) 自然災害等で被害を最小限にするため、町管理の川の整備が大切と思うが、当町の川の整備状況はどうか。

答 (1) 黒沢尻土地改良区とともに整備を進めているが、上流部では未改良となっている。  
(2) 水質検査の結果、基準値

うに考えているのか。  
(3) ゴルフ場流域の川の水質検査は行っているのか。

そなえあれば...  
ちよっとひとこと



▲H22年度総合防災訓練にて

早急に現状調査を  
ちよっとひとこと

防団の協力をいただきながら、高齢者のみの世帯へ無料で設置する事業を実施している。



松井美子 議員



佐藤 巖 議員

## 大河原にもう一つの 特別養護老人ホームを

**問** 特別養護老人ホームの増床整備は介護基盤の緊急整備、特別対策事業を活用し、社会福祉法人で行う事業と認識している。特別養護老人ホームの増設を必要と考えているのかどうか。第5次介護保険事業計画の特別養護老人ホームの増設の基本計画はできあがっているのか、運営実績のある社会福祉法人に町として正式に建設依頼の申し入れを行う考

わが町の高齢者福祉、特養政策がいいのかと、わたしは不審を抱く一人であった。町長は本気でわが町に特別養護老人ホームの増設を必要と考えているのかどうか。第5次介護保険事業計画の特別養護老人ホームの増設の基本計画はできあがっているのか、運営実績のある社会福祉法人に町として正式に建設依頼の申し入れを行う考

えでいるのか。特別養護老人ホームの充実には、当町福祉行政の推進に必要不可欠と認識しており、介護保険制度充実

**答** 特別養護老人ホームの増設を必要と考えているのか。特別養護老人ホームの増設の準備は、町内の特別養護老人ホーム施設側も整備の意思があり、

を図るためにも施設の整備は必要である。第五期計画の前倒しも考慮し、十分な計画を立てていく。福祉法人へ町からの建設依頼は、町内の特別養護老人ホーム施設側も整備の意思があり、

施設側と町で建設及び増築に向けた施設計画を協議していく段階になっていく。

1日でも早く  
特別養護老人ホームの  
増設を

ちょっと  
ひとこと



▲特別養護老人ホーム桜寿苑

## どうなる 町の子育て施策のゆくえは

**問** 第5次長期総合計画策定会議（コラボ会議）が「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」を重点施策に挙げている。(1)不動保育所を第一光の子

(4)子どもを産み育てる環境づくりで、町はどう責任を果たすのか。

**答** (1)不動保育所の民営化計画と第一光の子保育

(3)新システムは幼保一体化を含む新次世代育成支援のための仕組みで平成25年度から本格実施の予定。保育に欠ける子の認可保育所利用制度の廃止、子ども園の

の経済的負担の軽減、子育て不安への援助、保育所や児童館・子育て支援センター等の施設の充実を図る。

重点施策に挙げている。(1)不動保育所を第一光の子

# 定例会 主な議案

## 人事案件

教育委員会委員に同意

佐々 武弘 氏



(全員賛成で同意)



▲保育風景

保育園と統合し、旧専門学  
校跡地へ新築移転するとい  
う考えは変えないのか。そ  
の理由は。  
(2)来年度、待機児を出さな  
いための方策は。  
(3)子ども子育て新システム  
基本制度案要綱をどう受け  
止め、町の保育行政にどう  
影響するとみるか。

園が抱える耐震問題を解決  
する必要がある、旧専門学  
校跡地へ移転新築の方向で  
検討を進めている。方向性  
は変えない。  
(2)児童福祉施設最低基準の  
範囲内で、法令等の弾力的  
運用で定員を超えて入所決  
定をし、待機児童の解消に  
努力している。

子育て関連施策の財源の一  
元化、施策実施の権限を市  
町村へ移譲するなど含まれ  
ている。国の動向を見守っ  
ている。  
(4)多様な就労環境や社会の  
変化に対応し、働きながら  
子育てができる環境づくり  
が求められる。コラボ会議  
等の提言を検討し、子育て

## 九月定例会

### 一般会計主な補正予算

#### 収入

町民税(個人)

△7900万円

地方交付税

1億6466万円

新型インフルエンザ

ワクチン接種補助金

379万円

財政調整基金繰入金

△1億600万円

東部地区グラウンド

整備借入

1160万円

#### 支出

予防接種委託料

365万円

川根団地東線

外道路用地取得

498万円

借入金返済元金

230万円

借入金返済利子

△553万円



▲整備が進む東部地区グラウンド

## 九月定例会

### 国保会計 主な補正予算

#### 収入

前期高齢者交付金

△800万円

前年度繰越金

3469万円

療養給付等交付金繰越金

1226万円

#### 支出

療養給付費

2625万円

高額療養費

1900万円

「子どもが主役」は  
どうなるの

ちょっと  
ひとこと

# 委員会調査 町への提言



## 議会運営委員会視察

### 議会基本条例の策定をめざし 茨城県銚田市議会を視察

銚田市議会では政務調査費の使途をめぐり、マスコミでも取り上げられ、議員に対する信頼感が失墜する状態に陥った。住民から信頼される議会をつくるためにはどうすればいいか。議会が形あるものを住民に提示することが重要であるという認識から条例制定の取り組みが始まった。議会運営委員会が中心となり条例の草案をまとめ、全会一致で可決される。施行後、議員各自の意識改革が図られ、事務局任せから議員自らの方向に転換できたとのこと。当町の議会でも今後の課題としていきたい。



## 所管事務

## の調査報告

### 総務文教常任委員会

### 介護施設の 入所待機者をなくせ

高齢化社会を迎え、今後ますます介護施設のニーズが増大する方向にある。その中、桜寿苑では大河原町内の待機者は約100名おり、年間退所者は10名前後のため、施設が足りないと思われる。待機者も年々増加すると思われる。第5期介護保険事業計画の前に、町独自で待機者解消の計画が望まれる。



### 産業建設常任委員会

### 農作物の被害減少に 早急な対策を

イノシシによる農作物被害のあった畑作地を現地調査したが、日を追うごとに被害拡大が懸念される。有害鳥獣は町境など関係なく移動し生息しているため、広域的な取り組みと同時に町独自の取り組みも前進しなければ耕作放棄地の増加、農家の担い手の減少を招く恐れがある。次世代を見据えた取り組みが急務である。

## 議員の 出前懇談会

募集しております。



町民グループや地域の要請等により、議員が直接出向き、みなさまの意見等を議会に反映させることを目的に「議員の出前懇談会」を開催いたします。

### ■利用方法

10人以上の出席が見込める団体・グループ等

### ■日時・場所は

要望に合わせます。

### ■懇談会のテーマは

まちづくりに関すること等。

### ■要請方法は

懇談会を要請する団体等の代表者は、開催日の30日前までに議会事務局へ要請書を提出していただきますようお願いいたします。

詳しくは、

大河原町議会事務局

☎ 0224(5)2800

# その後どうなった あの提言

議員が行う提言は、町政にどのよう  
に反映されているのでしょうか。  
これまでの質問の中から、その後  
の経過について追跡レポートを  
実施してみました。



▲対象者が限定されますが交通弱者に一步前進（中核病院タクシー乗り場）

## 質問 交通弱者の声に こたえる交通整備を

わが町は面積の狭い町であるが、  
交通弱者（病気の人、障がいのある人、  
高齢者等）にとっては通院  
等の日常生活の移動手段にかかる  
経費の負担は大きい。町で何らか  
の対策を。



## 追跡結果

平成22年10月より心身に重度  
の障がいのある方を対象にタクシ  
ー券（月4枚）を発行し、1乗車  
につき1枚（500円）を助成する  
こととした。今後対象者の拡大に  
期待したい。

平成18年  
6月



平成22年  
10月



## 議会 活動日誌

今回は7月・8月・9月の活動  
報告をいたします。

7月  
1日～2日

議会運営委員会視察研修  
（茨城県鉾田市）

6日  
総務文教常任委員会  
所管事務調査

8日  
議会広報委員会  
産業建設常任委員会  
所管事務調査

14日  
議会広報委員会  
所管事務調査

21日～22日  
議会広報委員会視察研修  
（遠田郡美里町・岩手県雫石町）

8月

2日  
総務文教常任委員会  
9日  
全員協議会

9月

1日  
議会運営委員会  
2日  
第4回定例会本会議  
8日～16日  
全員協議会

第4回定例会本会議  
決算特別委員会  
議会広報委員会  
議会広報委員会

16日  
議会広報委員会

30日  
議会広報委員会

金ヶ瀬5区 佐藤 進



私は、べガルタ仙台のサポーターです。モンテディオ山形とのみちのくダービーが9月19日に宮城スタジアムで開催され、みごとべガルタ仙台が2対0で勝利しJ1残留に向けて弾みをつけました。スタジアムでは、大河原町の物産品やもちぶた館の食材を販売するブースがあり、大河原町自慢の味覚に仙台と山形の両サポーターが舌鼓を打っていました。また、春先に丸森町のアンテナショップが仙台市一番町にオープンし、町の見どころや農産物等を紹介し好評を博したようですが、今後は大河原町も様々な催しに大河原町の紹介ブースを出店し、県内だけではなく国内、そして海外に向けて「大河原町」ブラン

ドを発信して行く必要があると感じております。そこで、大河原町をアピールするために「ゆるキャラ」と絡ませた「ゆるキャラ」の誕生を提言します。全国にキャラの公募を行えば素敵な「ゆるキャラ」が誕生することでしょう。「ゆるキャラ」と言えば宮城DCマスコット「むすび丸」がありますが、他の地域の「ゆるキャラ」やべガルタ仙台や楽天、89ERSのマスコットとの交流を行うだけでも立派な話題作りになると思います。さらには、「ゆるキャラ」を著作権フリーにし、大河原町の親善大使として町のブランド化と情報発信、そして町おこしに活躍して欲しいと考えております。

## 12月議会のお知らせ

議会を傍聴しませんか

招集日 12月 8日(水)

再開日 12月14日(火)

詳細は議会事務局まで

☎53-2800

## 街かど

# ワンショット

今年度、白石川右岸の道路わきに緊急雇用対策事業の一環で彼岸花（マンジュシヤゲ）が植えられました。花が咲くまで気づかなかった町民の方も多くおられました。残念なことに猛暑の影響が、植えた球根の半分ほどしか花を咲かせることができませんでした。来年の秋こそは輪生状の可憐な花が春の桜に負けないよう咲き誇ることを願います。



# プラスワン



秋も深まり、稲刈りの季節を迎えました。日照りに不作なしとはいっても、猛暑で品質、収量の低下、それをめがけたかのような大雨に田んぼは何日間もぬかるみ、稲は倒れ、コンバインも立ち往生と今年の米農家の方々は収穫に大変なご苦労をされました。当たり前のように主食として食べるお米、今年はより一層有り難く食べたいと思います。

## 編集後記

議員となりそして議会だよりの編集に携わるようになり一年半が過ぎました。誰のために役場があるのか、誰のために議会があるのか、その中で議員はどのように働いているのか。議会だよりの編集を通じて議員一人一人と町民との目線がずれていないか。町民の想いを代弁者としてきちんと議会に伝えられているか。日々身につまされながら、出口の見えない不況の中この議会だよりが町民の心よりどころとなるよう努力してまいります。

(岡崎)

### 編集発行責任者

議長 佐々木守伸

### 議会広報編集委員

委員長 万波 孝子

副委員長 堀江 一男

委員 丸山 勝利

委員 松井 美子

委員 柘和 也